

展示室 Exhibition

オープニング 企画展

布を愛した人たちのものがたり展

KIMONO Gallery

世界初公開展示
国指定重要有形民俗文化財
津軽 刺し子着物

奇跡の
テキスタイル
アートコレクション
BoRo

2009年11月1日(日) - 2010年2月28日(日)
10:00 - 18:00 (最終入館は閉館30分前まで)
◎会期中無休 (展示入替えのための、一部休室の場合もあります。)

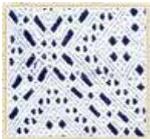
- 一般1,000円 / 大学・高校生800円 / 中・小学生500円 / 未就学児童無料
- 一般団体料金は15名以上で800円
- 身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付き添いの方 (1名まで) は500円
- ※表示料金はすべて消費税込みです

主催: アミューズ ミュージアム 企画制作: 株式会社アミューズ エデュテインメント

布を愛した人たちのものがたり展

アミューズ ミュージアムでは、オープニング企画展として、『布を愛した人たちのものがたり展』を開催します。本展では、世界初公開展示となる国指定重要有形民俗文化財「津軽刺し子着物」や、テキスタイル・アートコレクション「BORO」を紹介します。

今回特別展として公開する民俗学者・田中忠三郎氏所有の国指定重要有形民俗文化財「津軽刺し子着物」は、学術的に大変貴重な民俗資料であるばかりか、極めて高い針仕事の技術に裏打ちされた工芸



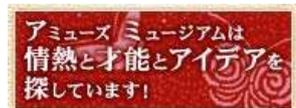
品であり、なによりも当時の女性たちの想いがこめられた、かげがえのない手仕事の結集です。これら刺し子着物は786点が重要有形民俗文化財として国から指定されていますが、その中から世界初公開の約100点を順次、所有者の田中忠三郎氏自身から選りすぐり展示いたします。

また、人の一生はおろか、二代、三代、時には四代にわたって、布を再生し継ぎ充てを重ねられたボロ着物は、今や「BORO」として世界共通語となるほど、アート・テキスタイルデザインの分野で高く評



価され、欧米の染織美術・現代美術のコレクターから買い求められています。100年の時を越えて公開されるこれら「BORO」コレクションは、布のエコロジーの極致であり、布を愛し慈しんだ人々が生んだ消費文化の対極のアートであるといえるでしょう。

これらのコレクションは、民俗学者・著述家の田中忠三郎氏が40年以上に渡り、民俗学の研究のかたわら収集してきたもので、寺山修司や黒澤明、都築響一らがその美しさを絶賛し、作品制作のために借用するなど、学術的価値はもちろん芸術的価値の高い稀有なコレクションとして知られています。田中忠三郎氏は、「庶民の衣服が重要有形民俗文化財に指定されたのも画期的なことだが、これら衣服はどれをとっても無駄がなく美しい。それは布を織った、そして刺し綴った人々の想いと愛情、人柄がし



のばれるからです。」と語っています。柳宗悦、青山二郎、白洲正子らの流れを汲む生活のなかの美、“用の美”を体現するコレクションだといえるでしょう。

田中忠三郎とは



1933年、青森県生まれ 民俗学者、著述家。国指定重要有形民俗文化財含む、3万点以上の骨董、古民具、衣服などの貴重なコレクションを個人所有。これらのコレクションは、その芸術性の高さを絶賛され、寺山修司氏、黒澤明監督などの映画作品等にも貸与されています。

[もっと詳しく](#)

津軽刺し子とは



かつては日本でも自分や自分の家族の衣類を、一家の女性たちが自ら作ることは日常でした。雪国・青森では綿花の栽培ができないため、彼女らは麻を植え、繊維をとって糸にして、布を織りました。麻布の目は粗く、彼女らはわずかに手に入った白黒の木綿糸を、惜しみながら麻布に刺し縫いました。彼女たちは、布や糸にも人と同じように、生命があることを感じ、わずかな端切れ布や短い糸も、とても大事に使いました。布や糸を自らの命と重ねて、美しくありたい、健康でありたいという願いとともに、装飾・保温・補強のための技を集めた着物ができあがりました。やがて、刺し子着物は、農家の晴れ着として嫁入り支度に欠かせない衣裳に発展していきました。

[もっと詳しく](#)

BOROとは



田中忠三郎コレクションの中には、江戸時代から何代にも渡り、青森の山村、農村、漁村で使われてきた“ぼろ”と呼ばれる衣服や布類が多数あります。現代のキルト、パッチワークのようにきれいなものを作りたくて作ったのではなく、そのときにあるものを重ねていき、寒さをしのぐために少しでも暖かく丈夫にしたいと、つぎはぎを重ねて大切につかわれてきたそれらぼろ布類は、今あらためて見れば、そのままイタリアやフランスのハイファッションになりそうな完璧なデザインです。

[もっと詳しく](#)

古民具など



アミューズ ミュージアムでは上記企画展以外に常設コレクションとして、田中忠三郎氏が提供した、黒澤明監督映画「夢」の衣裳や古民具、撮影時の貴重な資料なども常設展示しています。

[もっと詳しく](#)

参考文献：『BORO つぎ、はぎ、いかす。青森のぼろ布文化』小出由紀子・都築響一[編] アスペクト刊(2008年)
作品写真クレジット：(C)都築響一

[PAGE TOP](#)